

物価・生活危機に対する緊急アピール

エネルギーや原材料価格の高騰が、新型コロナウイルスで疲弊する国民生活に追い打ちをかけている。社会的セーフティネットの脆弱さ、不安定雇用、貧困や格差の拡大もあいまって、弱い立場に置かれた人々ほど苦しんでいる。雇用・生活・経済の構造的な課題の解決は待ったなしである。私たちは、政府・自治体に対し、生活に困難を抱える人々への支援、雇用と生活のセーフティネットの充実強化、子育てに関わる負担の軽減など、生活危機から人々を守る政策の早急かつ着実な実行を求める。

世界経済は、長期化するウクライナ侵攻など不安定な国際情勢、先進国を中心とした金融引き締めなどにより、先行きに不透明感が漂っている。わが国でも歴史的な円安の影響が続く中、このまま物価上昇と景気後退が同時に進む事態は、雇用と生活をまもるため何としても避けなければならない。社会経済が分岐点にさしかかる中、すべての働く人の賃上げ、サプライチェーン全体で生み出した付加価値の適正分配、価格転嫁の徹底などにより、デフレマインドを払拭し、経済の自律的成長と分配の好循環を作り出す必要がある。今こそ、労使はもとより社会全体が行動する時である。

こうした中、本日私たちは、2023 春季生活闘争方針を確立した。「未来づくり春闘」を深化させ、社会経済のステージを変える決意のもと、職場・地域で働く仲間の力を結集し、取り組みを展開していく。同時に、社会全体での賃上げに向けた機運づくり、すべての働く人の雇用と生活をまもる政策の実現、地域での支え合い・助け合いに向けた「賃上げ実現・くらし支援 あしたを変える連合緊急アクション」を、全国で積極的に展開していく。

この危機を乗り越え、くらしの希望を作り出していくため、今こそ労働組合の真価を発揮するときである。連合に集う私たちは社会を変える原動力として、全力で社会的役割を発揮していこう！

2022 年 12 月 1 日
連合第 89 回中央委員会